

# 境川



第158号

発行

境川中学校広報委員会

令和元年度後期



## —目次—

- P2 合唱コンクール  
P3, 4 ボランティア活動  
岐阜市第4ブロック・且格・鶉・柳津  
P5 中学生を見守る人々  
補導員・巡回活動・羽島署生活安全課  
P6 学校の1日  
P7, 8 夢特集・アンケート  
P9, 10, 11 本音で保護者トーク「夢」  
P12 職場体験

12月13日発行

境川中学校PTAホームページ  
<http://sakaigawa-pta.com/>



境川中学校 P T A  
Sakaigawa JHS PTA Website



境川中学校広報紙はホームページ発行のみとなりました。

印刷物をご希望の方は、広報委員会までお知らせください。実費で配布いたします。

問合せ先 [sakaigawa.koho@gmail.com](mailto:sakaigawa.koho@gmail.com)

# 合唱フェスティバル

10月31日

響け  
仲間の熱い想い

最優秀賞

3-1



## 「はじまり」

3年1組の学級目標は「光合成」です。仲間の良さを吸収しながら成長していこうという意味が込められています。私達は合唱フェスに向けて歌が得意な人の良さを吸収しながら聴いた人が感動できるような合唱を目指して取り組んできました。

この曲はゼロからスタートという意味があります。私達は初め孤独でしたが出会った人達と共に今を生きています。それを伝えるためにスケールが大きく壮大な曲に挑戦しました。

男声が2部に分かれるところ、テンポが変わるところは、きれいだけど力強さのある合唱にすることが難しく、何度も何度も練習してきました。

3年1組でしか表現できないこの歌をこのステージで歌えることを幸せに思います。

出会った家族や仲間、先生達に感謝して今みなさんに感動を届けます。

特別賞

2-4



## 「空駆ける天馬」

1978年の古くて難しい曲、チャレンジしてうまく歌えました。

ベスト  
ピアニスト賞



奥村一敬さん

技術力が  
高いです

ベスト  
エグゼクティブ賞



左合七彩さん

審査委員長  
松井裕樹先生

手を落下させる  
感じがうまいです

ベスト  
ピアニスト賞



廣瀬太志さん

演奏が  
丁寧でした

優秀賞

2-1



優秀賞

1-1



優秀賞

3-3



2-7



1-4



3-8



コーラス部



1-5



## ボランティア活動

岐阜市第4ブロックの活動

### 青年国際交流会

9月8日(日)

市橋コミュニティセンター



イベントの司会を体験



ネパールの楽器を体験

中学校を通じて募集された青年国際交流会に、10人の境中生がボランティアとして参加しました。

イベントの準備、運営をお手伝いしながら、ネパールの自然、文化、歴史、食事などを学びました。

### 且格校区の活動

且格校区では、中学生の約1/3の生徒が「中学生ボランティアグループ」に参加し、グループで活動しています。募集は1回/年、灯籠祭り、防災訓練、市民運動会が主な活動です。

一番のイベントは、灯籠祭り。中学生が中心となって企画運営をおこない、地域の方も一緒になって盛り上げる行事になっています。高校生大学生の先輩方もお手伝いに参加します。

「地域が高齢化して行事が少なくなっているのが寂しい。何か行事をやりたい。」と当時中学生の先輩が中心になって、11年前にスタートし、今に続いています。



青少年育成 川田さん  
自分たちでやり抜く力を付けるため、大人は手助けするのみに子どもたちに任せるようにしています。自分でやった方が早いのですが、それでは力が付きませんので。



境川中 2年生  
Q: どんなきっかけで参加しましたか?  
A: お兄さん、お姉さん方が活動しているのを見て、中学生になったら参加したいと思っていました。

### 灯籠祭り



高校生のお姉さんに教えてもらいながら、アナウンス原稿を作成。



班に分かれて役割分担。



司会も中学生ボランティア



本日はありがとうございました。礼!

### 校区運動会



校区運動会でも活躍

## 鶉校区の活動

鶉校区では、まちづくり協議会から夏まつり、防災鶉オッチ、体育振興会から校区民体育祭など、ボランティアの依頼があります。鶉の中学生だけでなく、柳津、且格からも参加しています。  
中学校を卒業したお兄さん、お姉さんも加わって、楽しくボランティアをしています。

### 親子ふれあい教室



お母さんが話を聞いている間、赤ちゃんをあやしたり、一緒に遊んだりしました。

### 夏まつり



参加した各団体のお店や、ゲームのお手伝いをしました。

### 校区民体育祭



### 防災鶉オッチ



鶉地域のボランティア活動に、毎年、多くの中学生に活躍いただいて、とても感謝しています。鶉地域では、境川中を卒業した先輩もボランティアとして頑張っています。皆さんも高校生になっても積極的にボランティア活動に参加していただくと嬉しいです。



青少年育成  
市民会議  
岩田さん

## 柳津校区の活動

柳津校区では、青少年育成市民会議、小学校、まちづくり協議会、自治会など様々な団体から、行事ごとにボランティアの依頼があります。今年、新たに子ども会から「球技大会を手伝ってほしい」、青少年育成市民会議から「ラジオ体操の運営をしてほしい」との依頼がありお手伝いしました。多くのイベントで大活躍する、なくてはならない戦力です。

### まちづくり協議会



### 柳津小学校



### 子ども会



11名の中学生がボランティアで参加してくれました。体操のお手本や、一緒にスコア確認をしてもらいました。楽しそうに活動してくれて、とても頼もしい存在でした。



子ども会  
清水さん

### 青少年育成市民会議



# 中学生を見守る人々

## 補導員



**地域補導委員会**  
3校区の各種団体から各7名、計21人が選任されて活動しています。境川中学校からは2人の地区委員長が選任されています。今年のはたまたまPTA会長、広報委員長も加わっています。

## 巡回活動



鶉



日置江



柳津

鶉、日置江地区では青パトによる巡回活動が週に3～4日程度行われています。朝夕は子どもたちの通学時間に合わせ交通安全、夜は防犯を主な目的に活動しています。青パトの無い柳津地区では、ふれあい夏祭り、夏休みの時期に夜間巡回指導を行っています。

こうした地域の方たちの見守り活動によって、子どもたちが安全に通学・生活することができています。

「最近の子どもたちは夜間に出歩くことがめっきり減った」という声が多く、むしろSNSによるトラブルを心配する声が増えています。

## 岐阜羽島署生活安全課

### 少年補導担当 黒田さんインタビュー

黒)：黒田さん  
広)：広報



広) 最近の境川中学校の生徒に関わることで何か気になることはありますか？

黒) 羽島署管内では、気になる行動はなく落ち着いています。喫煙や深夜徘徊など、そういう外に出るの補導をすることは、全国的にも県下的にも年々減少傾向にあり、羽島署管内でも同じ傾向です。境川中学校区に関しては、バイクで近所迷惑な音を出しながら走行するという事案はときどきありますが、それも昨年に比べれば減っています。自転車盗や万引きなどの犯罪で警察に補導されたという事例もありません。人づてには補導が多かった時期もあったと聞いていますが、私が担当している去年と今年に限って言えば、他の学校と比べても悪い印象はありません。

広) では、今のまま落ち着いて生活していけばよいということですね。他に何か気をつけたほうが良いことは？

黒) SNSやインターネットに関係した相談やトラブルは増えています。分かりやすく目に見える非行と違って、表に出てきたときには事態が深刻になっているので、子どもたちには、「普段から早め早めに相談してほしい」と啓発活動をしています。でも子どもたちは大人より自分たちのほうがそういうものに詳しいという考えがあるので、「どうせ親に言ったって」と思ってしまうし、悪いことをしているという罪悪感もあるので相談をためらってしまうようです。だからなかなか言い出せなくて、そうこうしているうちに本当に警察でお世話になるしかない状況に陥ってしまいます。例えば画像が拡散してしまうというトラブルが起きた場合、そうなってしまった後では私たちが画像を100%削除することはできません。何とかそうなる前に相談してほしいですね。

広) 中学生だと携帯電話を持っている子と持っていない子がいます。うちの子は持っていないので、例えば友だちの携帯で写真を撮るといったことになったときに、「撮ってもSNSにアップするのはやめてねとお願いするんだよ」とか「そもそも写真と一緒に撮らないほうがいいんだよ」と言っただけですが、実際その場面を想像すると、子どもが友だちにそんなことを

お願いしたり断ったりするのは難しいのかなと思います。

黒) 同意を得ずに友だちの写真をインターネット上にアップするのは、肖像権の侵害になります。それは法律に触れることだ、してはいけないことだと、教えていくしかありません。ありとあらゆる危険性があるので、何に焦点を当てるかにもよりますが、1個1個、保護者さんが教えていくことが必要だと思います。例えばアップした写真で友だちが学校の制服を着ていて、それによって人や場所が特定されてしまうと、ストーカー被害に遭うという可能性もあります。

広) 携帯電話などのツールを持たせる場合には、保護者がきちんとルールを教えるということが大事ですね。

黒) 持たせる前に家族で話し合っただけで決めて、それを守るという約束を持たせるといいです。実際に警察で取り扱った事例で、深刻なものだと、SNSを通して知り合って誘拐されたり、裸の画像を送って拡散されたりしたのがあります。日頃から家族でコミュニケーションをとって子どもにインターネットの危険性を教えることが大切です。

広) 保護者には分からないうちに犯罪被害に遭っているというのは怖いですね。

黒) 常日頃から子どもの言動や表情をよく観察して、ふさぎこんでいる様子などが見られたら、「大丈夫？」と声をかけてほしいです。そして何よりも、相談しやすい関係を普段から作っているといいですね。

広) そういのが一番難しい年頃でもありますね。

黒) そうですよ。でも何か起こったときに現実世界で助けを求められるかということがとても重要です。誰にも相談できずに「どうしよう、どうしよう」と言っているうちに事態はどんどん深刻になってしまいます。

広) なるほど、よく分かりました。本日はありがとうございました。



# 学校の1日

11月9日(土)  
土曜授業(午後参観日)

教員の長時間労働が話題になっています。岐阜市では、教員の休日を確保するために、夏休みの閉庁日(16日間)を設けるなど様々な取組が行われていますが、平日は、朝早くから遅くまでの授業準備、週末・夏休み期間中には部活動の大会の引率、地域イベントへの参加など、様々な場面で生徒たちのために活動している姿を見かけました。そこで、広報委員が先生方の仕事について知るために「学校の1日」取材しました。

5:30 最初の先生登校(駅伝の引率)

質問:先生早いですね。

答:今日は特別の日(駅伝)ですから…  
(予想外に、学校の朝が早すぎて、写真撮れませんでした)



6:00	
7:00	
8:00	8:15予鈴
9:00	朝読書
	朝の会
	1限目
10:00	2限目
11:00	3限目
12:00	4限目
	弁当
13:00	昼休み
	掃除
	帰りの会
14:00	5限目
15:00	6限目
16:00	16:10
17:00	下校完了
18:00	
19:00	
20:00	消灯
21:00	



~8:20 登校指導  
「いつも 8:20 までには、ほとんどの生徒が登校しています。」



13:10~13:20 掃除  
「はじめの会」で打ち合わせをしてから掃除開始。



14:00~(3年生)  
体育館で、「進路説明会」



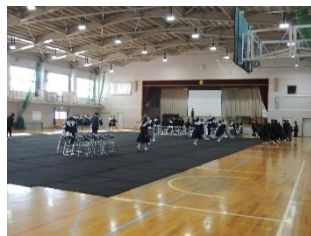
15:50~16:10 下校指導  
「一斉下校は、保護者の車が多く、事故がないよう特に気を遣います。」



6:30 駅伝のバス出発



12:45~13:00 昼休み  
体操服、制服で元気に遊んでいました。



13:00 体育館準備  
みんなで体育館のいす準備



14:00~(1年生)  
「原三溪講話」講師市川さんによるお話を聞きました。



19:50 職員室にはまだ明かり  
「消灯は20時です。忙しいときは、真っ暗な中パソコンの明かりで残業しています。」  
(20:45までには最後の先生が下校していました。)



7:30~8:00 部活動朝練  
(バスケット、ハンドボール、ソフトボール)  
「いつもはほとんどの運動部が朝練をしていますが、今日は少ないです。」



12:25~ 昼の放送  
放送委員は授業が終わって放送室に直行。「いつも給食は放送室で食べています。」



14:00~(2年生)  
「職業講話」8つの部屋に分かれて、職業について勉強しました。

### 取材の感想

当初、1人の先生を対象に「先生の1日」というタイトルで取材依頼をしましたが、プライバシーなどの問題から、「学校の1日」というページになりました。

学校全体の取材の中からも、平日も休日子どもたちのために仕事をしている先生方を垣間見ることができました。改めて先生方には大変頭が下がる思いです。

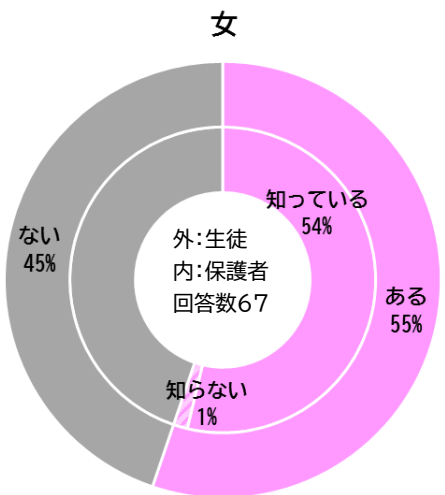
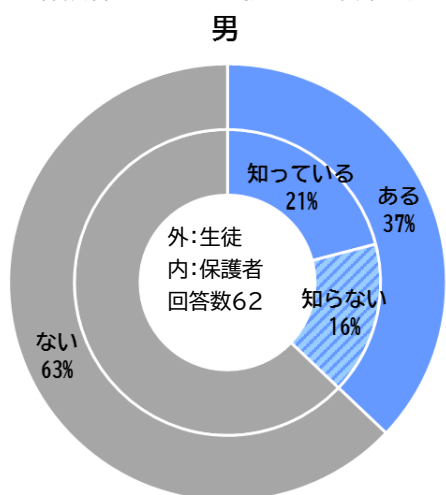


職場体験を終えて、そろそろ、進路、高校を考え始めた2年生に「将来の夢」、そして、保護者に「夢への支援」について聞いてみました。

### ■就きたい職業について

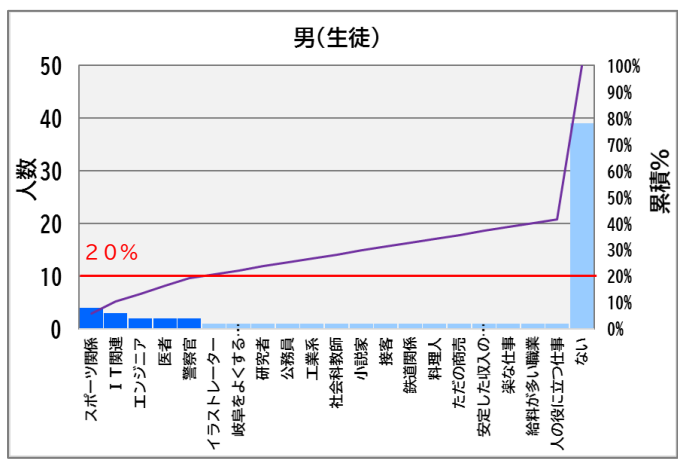
生徒：将来就きたい職業はありますか。  
保護者：お子さんの就きたい職業を知っていますか。

回答率	全体	47%(129/276)
	男子	42%(62/147)
	女子	52%(67/129)

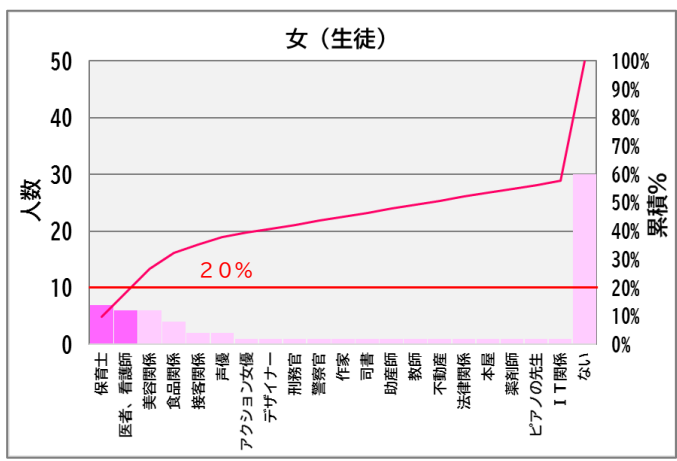


- 就きたい職業トップ5(男子)**
- 1位:スポーツ関係
  - 2位:IT関係
  - 3位:エンジニア  
医療関係(医者)  
警察官

- 就きたい職業トップ5(女子)**
- 1位:保育士
  - 2位:医療関係(医者・看護師)  
美容関係(美容師、ネイリスト)
  - 3位:声優
  - 4位:食品関係(パティシエ、料理関係)
  - 5位:声優



上位20%の生徒は5つの職業を選択



上位20%の生徒が2つの職業に集中

## ■お子さんの職業選択に保護者の意向をどの程度反映させたいですか。



- A 子どもの好きなように (関与度 0~20%)
- B あまり関与しない (関与度 21~40%)
- C 半分程度関与 (関与度 41~60%)
- D 強く関与したい (関与度 61~80%)
- E 決まっている(後継ぎ) (関与度 81~100%)
- F わからない

### 全体の結果から

女子は、保育士、医者、看護師、美容師など接する機会の多い職業に就きたいと考える傾向が強いようです。

一方、男子は、男性の働く職業に接する機会が少ないため「就きたい職業」が分散し、「就きたい職業」がない生徒は女子より多くなりました。

また、女子の方が日頃の会話が多いせい、「就きたい職業」について親子で共有できているようです。

男女とも就いてほしい職業に「本人の希望」を優先する保護者が最多ですが、男子の方がその比率は低くなりました。(男子は、女子よりも親の期待を背負ってプレッシャーを感じているかもしれません。)

女子は、生徒、保護者とも、人を助けることができ、資格を必要とする安定した医療系(医師、看護師)に人気がありました。

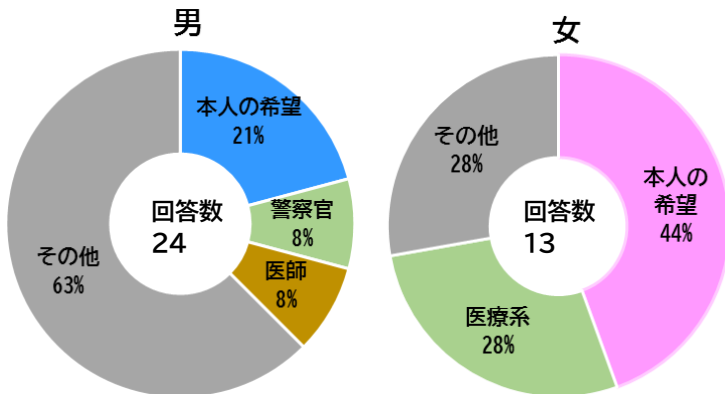
### 見方を変えると...

AI が職業を一変させ、これまでの枠で考える職業の一部は、将来無くなるとも言われています。

保護者が、今魅力的な職業に子どもを導くことはリスクとなってきました。時代の変化に応じて、自分で職業を探していくよう「本人の希望」を優先する方がより賢い職業選択になっているとも考えることができます。

男子では、AI を操る「IT 関連」、女子では、ホスピタリティーが求められるAI にできない看護師、保育士が上位にランクインしています。子どもたちが時代の変化を敏感に感じている現れではないでしょうか。

## ■お子さん就いてほしい職業は



## ■頂いたアンケートの結果から

生徒	保護者
①:性別	⑤:就きたい職業へのサポート
②:就きたい職業	⑥:就いてほしい職業
③:理由	
④:努力していること	

①女  
②トイデザイナー  
③子どもが楽しんでいるところを見るのが好きだから  
④デザインの考案  
⑤なりたい職業に就くために必要なスキルを習得できる高校や大学のリサーチ。

①男  
②IT 関係  
③部活などでパソコンを触っていて、多くのことを理解できているから。  
④部活で、プログラムを実際に作ってみたり、関連する本を読んでいること。

①男  
②警察官  
③人の役に立つ仕事がしたい。  
④勉強・情報収集  
⑤子どもの話を聞く。現職の人の話を聞く。  
⑥警察官

①女  
②助産師  
③ドラマを見て、やりがいがある、かっこいいと思った。  
④相手の立場になって接すること。  
⑤高校や大学の相談にのっている。その職業の魅力を伝えている。

①女  
②保育士・幼稚園の先生  
③小さい子が好き・幼稚園の時の担任の先生に憧れた。  
④ピアノ、笑顔で過ごすこと、たくさんの人とかわかること  
⑤家事の手伝い、ピアノ、習字など、必要な習い事をさせている。

①女 ②刑務官  
③今やっている「剣道」をいかした仕事がしたい。  
④2 段をとること。大会で成績を残すために毎日の稽古。剣道強豪校に合格できる勉強。  
⑤必要な資格や経歴を子どもと調べる。今必要なことをサポート。

①男  
②社会科教師  
③社会が好きだから。  
④勉強  
⑤いろんな職種、いろんな選択肢があることを伝えている。  
⑥本人がやりがいをもって働ける職業であれば何でもよいです。

①男  
②小説家  
③本が好きだから  
④毎日、いろんな本を読んでいる。  
⑤月に 2 回、市立図書館で本を借りてくる。  
⑥とにかく自立できる職業

①女 ②声優のような人を笑顔にできる仕事  
③いろんな人が少しでも笑顔でいてくれることがうれしいから。  
④声優さんの工夫、日頃から声だけで気分を伝える、周りを笑顔にする方法などを考えている。

①男  
②鉄道関係  
③鉄道が好きだから  
④鉄道の本を読んだり、電車に乗ったりしています。  
⑤なるべく、移動は電車を使うようにしている。

①女  
②美容師  
③両親が美容師で かっこいいと思ったから。  
④職場に行ってみたり、調べたり、やってみたりしてる。

①女 ②不動産営業  
③親が仕事をしている姿を見て、自分もいっしょにこの職業に就きたいと思った。  
④親の職場についていきメモをとり、気になるところの質問。  
⑤まずは、私が夢を実現するためにがんばります。子どもに背中、伝えられたら良いなあと思っています。



# 本音で 保護者トーク 夢

司会：本日はお集まりいただきありがとうございます。夢」というテーマでお話したいと思っています。

A：夢ってありました？私無かったような気がします。

B：両親とも共働きで結構忙しくて、時代的にも、高校行つて大学行かせるのが目標、女の子だし・・・「夢は何」と聞かれたことは無かった。いよいよ高校三年生になって大学、進路を決めるときに、親から急に「医療関係にしたら」と言われました。でも文系だし・・・  
一同：笑い

B：親も、決めなきゃというときになつて、「手に職、資格」と考えたのではと思います。女の子だし・・・



そんな反面教師もあつて、「小さい頃から将来の仕事について意識させて育てていかなければ」という思いがあつて、いろいろ体験させるよう子育てしています。司会：中学生など進路選択の時に職業を意識していることがすごく大事ですね。

C：親が公務員だったので・・・学生の頃は、「進学の先に就職があつて自分でお金を稼がなければいけない」という意識があんまり無かつた。

ありがたいことに、高校、大学という道筋は作つてくれたけれど、その先がわからないまま行つていたから、いざ就職となると、そんなに情熱持つてやれないですよ。いま「13歳のハローワーク」という本や職業体験もあります。うつつらとでも「この先あなたも働いて、いざればお金を稼ぐんだよ」と言つていかなければいけないと思つていきます。



幻冬舎刊

B：大学に入るのがゴールでなくてその先ですよ。C：どつちかというとその先の方が大事だよって、早い段階で知つていたかったです。

B：今日、小学校の二分の一成人式で子どもたちが将来の夢を話していました。いろいろ聞いてみると、働く親の姿を見て「お父さん、お母さんと同じ職業」という子どもが結構いらつしやいました。

D：私がパンづくりが好きなもあつてか、保育園の時は食パンを食べて「こん

なふわふわのパンを焼きたい。」と言つていました。低学年になつたら、ペットシヨップ。私が「かわいだけじゃだめだよ、売れ残つたらどうするの」と言つてしまいました。そしたら、トリマーに変わつて。知り合いのお店で、うちの犬で体験させてもらったんです。今はトリマーのはずです。休みのたびにうちの犬で爪をカットしたり、毛を刈つたり、時々やつています。でも理数系嫌いだから・・・司会：理数系なんですか。

D：病気のこととかいろいろあります。またつまずくかなと思ひながら、見ています。そのトリマーの女の子は社会人になつてから自分の夢を諦めきれず、お金を貯めて専門学校に行つて、今やつています。そういう職業選択もあるのかなと思ひます。

司会：進学して上の学校へ行けば行くほど、競い合つてみんなと上の大学へ行こうとする、方向がそれについてしまうことがあるように思ひます。子どもの時になりたい職業と、周りの子どもたちから影響受けてなりたい職業が変わつてしましますね。

E：大きくなると、現実に生活のことを考えるから、収入を考えた上でのなりたい職業に変わつていくんですね。司会：〇〇は収入がいいからと親が・・・

E：夢と言うよりは食べていけるか。現実的な考えが入ってくる。たとえば歌手になりたいと幼稚園の時に言つていても、歌手になれるのは一握りじゃないですか、現実的には、ただ幼稚園の時はほんとに憧れで言つていけるけれど、だんだん狭くなつてくる。

司会：子どもが納得してそつちの方向に変わつていけばいいのですけど。

C：大学の就職課の人が、「やりたいことがあつて入つてきた学生と、ブランドで大学に入つてきた学生とは、やる気、目の輝きが違う」と言つていました。「親さ

んは収入の高い安定した職業を勧めたくなるのもわかるけど、本人が望んでいないならそれはいい結果にきつとならないやりたいことを優先させてあげてほしいです。」と言われました。目から鱗で・・・娘がある資格の仕事をしたと言ひ始めて、その仕事つてお金になるのかなつて、就職口があるのかつて心配は尽きないです。あんな夢を持ってなかつた娘がそうやつて言つたので、「もうちやつと広げてあげればよかったな」と話を聞いてから考え方が変わりました。「やりたいことが大事、小さい業界でもなんとか食べていけるのじゃないかな」と考え方が変わりました。

A：うちも何がやりたいかわかりません。



2年生 職場体験

B：自分たちの時代と比べると、中学校では職場体験、小学校では二分の一成人式で将来のこと考えたり、六年生でもそういう行事があつたり、下の子四年生でゲームが好きなのでゲームをつくる仕事がつたいと言つていたら、先生が、「プログラミングとか必要だから、そういうのを目指したら」と言つてくれました。学

校で将来の職業について考える時間を私たちの時代よりは作って下さっているかなと思います。それがすごくありがたいなと思います。



3年生 東京研修（企業訪問）  
（株）クリュートメディカルシステムズ

D…今、いろんな職業の体験が出来るところ多いでしょう。チラシで募集しています。ピザ作り体験とかトリマー体験とか、キツザニアにも行かせたかったなと思います。私たちの子どもの頃あんないい施設なかったですね。  
C…いろいろな体験できていいですね、今の子は。

司会…でも逆に今の子はそういうところでは体験できなくなつたと感じています。会社員が増えて、子どもは会社の中には入れないですね。昔は自営が多かつたから子どもが働いている姿を見られたんですけれど

C…会社が見えないから子どもが会社員になりたいという気がなくなつたんじゃないかと思えます。

B…親がサラリーマンだと「忙しそうだから頑張っているんだな」と感じていると思います。

たまにテレビでお父さんの職場に行こ

うというのがあって、それでお父さんの職場を初めて知るっていうのがありませんね。

司会…親が疲れて帰ってきてため息ついていると、子どもは会社員になりたくないと感じてしまう、楽しそうに会社に行っているといいでしょうけど、子どもが小六の時に、何になりたいか聞いたらPTA会長つて言っていました。

A…それじゃ「食べていけないし(笑)」司会…楽しそうにやっていたのかなと思えます。

C…うちの子ども、なかなか自分の得意なものが見つからなかつたんですけど、高校の部活ですごくはまって、下手だけど楽しい。だから私はその関係の仕事をしたいと言っています。とりあえず好きになつてくれたのが嬉しいし、それについて口出ししないようにしています。心の中では「その仕事ってどうなの、大丈夫か？」と思つていますが、やっと自分で興味持つた分野だから一つ打ち込める物が見つかつて良かったなと思えます。変わるかもしれないですけど。

司会…うちの高三の娘も同じ部活でした。すごく大変ですよ。宿題が終わらないんですよ、忙しすぎて。

C…でも楽しんでやっていますよね。もういいやと思えます。楽しそうなら

B…夢がそのまま職業になるって一握り。A…好きなことで食べて行ける人ってどれくらい？

「目標に向かつて、じゃあ今何やるの、それなりに成績とっておけば選択肢広がるように、この高校だったら選択肢二つあるけど、この高校だったら一つしかないよ。そういうことは承知しておきなさいよ」と言っています。

司会…意外とそうでもないところがあつて、上の高校に行くと「そんな仕事するの」と変なプライドがあるんですね。周りに流されて職業選択の幅をどんどん

狭めて、「ほんとに自分がやりたいことかな」と思う面もある。

A…一回就職したらずっと同じ仕事をやることも限らないし全く畑違いのことをやることもある。好きなことをとことんまでする時期があつてもいいと思う。昔は思えなかつたですけど。

司会…昔だったら転職怖いですよ。A…薬剤師、公務員とかになつてほしいですけど、やりたいことやつてうまくいけば儲けものだし、挫折しても後悔しないと思うんですね。経験したことからは何かしら仕事見つけて生きていくんでしょ。うね。好きなことやらせてあげることが今は大事な事と思つています。

どの職業が生き残るかもわからないし、生涯雇用なんて夢のまた夢ですね。トヨタですら「終身雇用は難しい」といっていますし、そうなるかと公務員？

C…むかしユーチューバーなんて職業なかつたけど、そこら辺の一流企業よりいっぱい稼いでいます。職業といえるかどうかわからないけれど、何がどう残つてくるかわからないし。何がなくなるかわからないし。

司会…お金だけで言うとその方がいいかもしれないですね。

A…大成功するのは一握り、あんな稼ぎ方があるのか、ほんとわからない、読めない。

B…夢はこれ、と決めなくても自分が人と話すのが好きだとか、一人でコツコツやるのが向いてるとか、方向性を決めるだけでもいいのかなと思えます。

司会…また戻りますが、自分の夢。実現できています？

C…そもそも自分の夢無かつたです。高校のときはうっすらと漫画家になりたいと思つていました。

D…私声優になりたかつた。今の時代だつたらすごかつたねって話。中学校の時に応募があつて出したんですよ。だけど、

名古屋で、学校があつて行けない、親もついてきてくれないから。

A…今、もしもなつていたら、野沢雅子、夢は大きく、そしたら旦那さんも違つていたかも。

司会…振り返つてみると惜しいこといっぱいありますよね。

C…漫画家で、すごい豪華して「先生」と呼ばれていたかもしれないですね。いろんな人の作品をみて、ぱつとあきらめた。

B…私、親に言われたのと、多少自分で考えて料理したり、食べたり食品関係が好きだつたんで、栄養士だつたら文系でもいけるかなと思つて栄養士になれる学校も受けたんですけど、結局文系の学校に行きました。その後は食品関係がいいかなと思つて食品関係のメーカーに勤めて、楽しかつたです。

結婚を機に退職して子育てが一段落して、働くときにたまたま思い出して食品関係で働いていたんですけど、そこに栄養士さんがいて、近くで似たような仕事ができるよつと楽しかつたです。方向性で言えば叶つたと思つています。

いくつになつてもチャンスはまだあります。

司会…物作るのが昔から好きで、進字する中で、消去法で絞られて、地元のメーカーに勤めるようになって、社内のいろいろな開発の仕事に少しずつ関わる仕事しています。物作りが好きなので、一つずつ興味を持って観られるんですね。そういう意味で楽しいです。

B…好きなことは続きますね。子どもが中学生に上がつて、環境が変わつて、この前、就職活動してまた食品関係で働いています。決めるに当たつて、家庭はもちろん優先ですけど、やりたい仕事とのバランス、たとえば座つてやる仕事は楽だから、帰つてからも疲れなくていいと思つて、動いたり、人と話したり、そ

ちの方がいいかな、でも帰つてから大

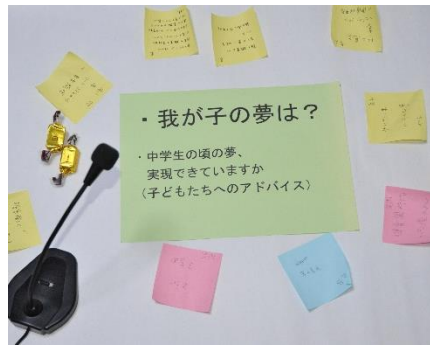
変だなと悩みました。でも仕事始めると自分の生活のほとんどが仕事になるので家庭を優先しつつ好きなことができるというかなど食品関係を選んだんです。司会：小学校の保護者の方と比べて、中学校の保護者の方は子どもが一段落ついて仕事の接点が増えて、PTAとかの集まりが悪くなっています。でもみなさん生き生きしてやっていますね。

E：はじめの仕事は、やりたいことなく、事務をやっていたんですけど、ある日突然、「情けは人のためならず」という言葉に出会って、ぐぐつときて、「こんなことしていたら駄目」と思って、それからポランティアを本場に時間を見つけてやっています。それから転職もしたんです。「対等じゃなくて、助け合うような仕事」がしたい、病院で働きたい」と思って、資格がむしやらに勉強して、自分で選んだのが楽しくて、きついですけど、ひよんなこと、きつかけが、いつあるかわからない・・・子どもから「夢の宿題が出ただけどうしよう」と相談がありました。「いつ何があるかわからない、きつかけが大事」と見守っています。

司会：私もPTAとかやりたくないタイプだったんですけど、子ども会をやっているんならたちがいろいろなことを言ってくるのをうまくまとめて方向線をつけていくのが意外と面白くて。  
A：意外に自分がいやだと思っていることが合うことがある。  
司会：そんな流れの中で今年役員をやっているんですけど。

A：適任だと思えますよ・・・もう楽勝。司会：子どもが楽しんで、知らない保護者の方からお礼いわれると、ほんと嬉しくなります。企画から下見、やり出すと楽しい。自分の思わないところで才能が活かされると違う人生があったかも。  
A：いろいろなことやるのも大事。  
司会：やってみて向かないと思えばやめ

ればいいし、やらずに向かないと思うのはよくない。  
C：やったら納得しますよね。やっぱだめだったかとか。  
B：子どもにいろいろな体験させるのは大事ですよ。



D：親に「何にも夢ない」と言っていたら、舞妓さんの募集観てあんたいつたらといわれました・・・次はバスガイド、勝手なこと言ってます。

司会：間口を広げてくれる親でありがたいですね。

D：あの頃、ラジオ聞いて舞妓の募集とか聞いて、「ひとりで行ってこー」とか言われました。

A：舞妓になつていたら今大人気。  
C：もう少し選択肢を見せてくれればよかった。「勉強しろ」とは言われたけど、「何やりたいのとか何に興味があるの」と言われたことはなかった。漫画家なんでもってのほかじゃないですか。あの頃は褒められたことでもなかった。そんなことも言えず、もう少し知っておきたかったな、中学のころ、こういう仕事もあるんだとか、これになるには何をしなければいけないかとか、今の子はすごくいいですね。

司会：確かに今の子どもたちは、職業について考える機会をたくさん与えられて。本日は、なかなか聞けないよその職業選択の考え方について話し合いをするいい機会になったと思います。本日はありがとうございました。

※書けないような本音トークも含め、たくさん話題が有りましたが、なんとか三ページに収まるように編集しました。

A：お母さんご自身の体験も踏まえて、現在の子育てを意識していらつしやるご家庭とか、お母さんご自身のお母さん(おばあちゃん)などが言っているらつしやることがそのまま今の子育てに反映されているかと言えはそうでも無くて、反面教師だったりしてなかなか興味深くお話を伺えました。

B：普段、ほかのご家庭の教育方針や考えなどを聞く機会もないので、とても貴重な経験でした。また、自分の考えや体験を話すことで自分の中で再確認できた事もありました。ありがとうございました。

C：将来について、職業選択について、正解はなくマニュアルも無い中で、みなさんと話すことで改めて親としての自分の考えと向き合い、また他のご家族、親さんの考えも興味深く聞くことができ、とても有意義な時間になりました。

D：よそと我が家と比較して改めて仕事について考えるいい機会となりました。ありがとうございました。

E：夢は大切だと言っけれど実際には目の前のテストに対して必死の日々で、いざ夢を語るのには簡単そうで難しく、それは歳を重ねるごとに現実味を帯びてしまい、簡単に口に出すのが難しいと感じました。私たちが親に出来ることといえば、いざ子どもから聞かれた時に情報を提供するとかかな、と思い(引出を増やさないと・・・笑。日々勉強です)子どもと普段から話しやすい関係を保ち、子どもの話を最後まで聞いてあげる事が大切なのかなと思っていました。

中学生なら、ただ夢を語るだけでなく、リスクも考えることもできるので、なりたい職業について一緒に付き合っつて調べ、それでもなりたいと思えるものに出会えた時に初めて夢に向かう事が出来るような気がします。私たちの時代は調べる手段があまりありませんでしたが、今この情報社会を活用して色々な職業を知ってほしいなと思いました。今はどんな職種も専門性を求められていると思うので我が子がちゃんと社会人として自立できるのか果たしてわかりませんが、歳を取っても勉強が終わることはありませんよ、常に学ぶ姿勢であってほしいと思います。

## 職場体験



### 職場体験に参加して

2年3組 喜多川 晟汰 (柳津公民館・図書室)

図書室での体験は、1日中動いていました。ぼーっとしていたら1日の仕事が終わらないので自ら動くことが大切だと思いました。

また、職員さんの話で、仕事はやりがいや楽しさを見つけられると続けられることがわかりました。

2年4組 日比野 奈保 (喜の里)

職場体験では、スタッフの方々が、利用者の方の身になって安全に仕事を行っている姿が心に残っています。「人の役に立ちたい」という思いがないと務まらない仕事だと思いました。この体験を通してやりがいもある反面、大変な仕事だと思いました。